

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	日本文学専攻
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【出題の意図】					
日本文学専攻で必要とされる思考力、知識のうち、特に専門分野に関する知識・教養、テキストの読解力、問題の発見能力・着眼力、問題解決における論証能力、文章執筆の言語能力が、学士課程で身につけているかどうかを確認する。					
問題一					
次の中から自分に該当するものを選んで述べよ（選択肢省略）。					
【解答例（採点時の観点）】					
これまでの研究成果もしくは構想と進学後の研究計画について、発想の独創性・分析や考察の客観性及び実証性、そして文章の論理的構成力・日本語表現力を採点時の観点とした。					
問題二					
《日本古代文学Ⅰ》					
（一）『古事記』と『日本書紀』の共通点と相違点について説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
上代（奈良時代以前）文学の常識を正確に理解しているか、要点を正確に押さえて記述できているかを採点時の観点とした。					
（二）『萬葉集』巻八と巻十の特徴を、両者を対比しながら明らかにせよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
両巻とも「雑歌」「相聞」を季節ごとに分類する点で共通すること、巻八は原則的に作者を明らかにするのに対し、巻十は作者不明の歌がほとんどを占める点で異なることを理解しているかを採点時の観点とした。					
《日本古代文学Ⅱ》					
（一）「源氏物語と死」「旅と平安文学」「枕草子と職の御曹司」「日記文学の母子」の中から二題選び説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					

平安文学における重要なテーマや研究用語について、正確な知識をもとに、具体的かつ論理的な見解が述べられているかを採点時の観点とした。

(二) 次は、都を離れ須磨に流離している光源氏にあてて、伊勢にいる六条御息所(元恋人が詠んだ歌(『源氏物語』須磨巻の和歌一首)である。

問一 右の歌の修辞法について答えよ。

問二 右の歌を現代語訳せよ。

【解答例(採点時の観点)】

『源氏物語』須磨巻本文の和歌の意味や表現を正確に読み取れているかを採点時の観点とした。

《日本中世文学》

(一) 日本文学史において慈円はどのように位置づけられるか、述べよ。

【解答例(採点時の観点)】

中世文学とその担い手について、正確な見解を有しているかを、採点時の観点とした。

(二) 次の文(『東関紀行』の一節)を読んで、後の問に答えよ。

問一 傍線部を現代語訳せよ。

問二 京都の「東山」と関係する作品を挙げつつ、日本の中世文学において「東山」という場を持つ意義を述べよ。

【解答例(採点時の観点)】

古文を正確に読解することができるか、中世文学とそれに関係する諸文化について深い見識を有しているかを、採点時の観点とした。

《日本近世文学》

(一) 都賀庭鐘について、その代表的な小説作品名にふれつつ、文学史における意義を論じなさい。

【解答例(採点時の観点)】

都賀庭鐘の代表作品名が書けており、経歴や文学者としての活動などについて豊富な知識を持っているか、また、彼とその著作の文学史的意義を適切かつ論理的に論述できているかを採点時の観点とした。

(二) 前句付と川柳の関係について、知っているところを述べなさい。

【解答例(採点時の観点)】

雑排の一種である前句付から発展して川柳が隆盛することなどについて豊富な知識を持っているか、また、それを適切かつ論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅰ》

(一) 日本近代文学における大正デモクラシーの影響はどのようなものであったか、具体的な作家や作品に言及しながら論じなさい。

【解答例（採点時の観点）】

大正デモクラシーが日本近代文学に与えた影響について、当時の文学や思想の特徴と関連づけながら具体的・論理的に論述できているかを採点時の観点とした。

(二) 雑誌『スバル』と森鷗外について論じなさい。

【解答例（採点時の観点）】

『スバル』や森鷗外の文学について、的確で豊富な知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅱ》

(一) 近・現代詩におけるキリスト教受容について、具体的な作家・作品名を上げながら論述せよ。

【解答例（採点時の観点）】

近・現代詩の歴史について一定の知識を持っているか、また、具体的な作家・作品をめぐる受験者自身の理解が詳細かつ論理的に記述されているかを採点時の観点とした。

(二) 谷川俊太郎の詩とその特徴について、具体的な時代背景を含めて論述せよ。

【解答例（採点時の観点）】

近・現代詩の歴史において逸することの出来ない詩人や作家の特徴について基礎的な知識があるか、さらにそれを具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅲ》

(一) 志賀直哉の文学の特徴について、具体例を挙げて論ぜよ。

【解答例（採点時の観点）】

志賀直哉の文学の特徴について豊富な知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

(二) フィクションの方法について、どのように論じることができるか述べて。

【解答例（採点時の観点）】

受験者の問題意識と関連付けながら文芸批評や批評理論に言及した上で、方法について具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《国語学》

(一) 日本語における新しい用法を一つ挙げ、それが持つ意味について説明せよ。

【解答例（採点時の観点）】

近年の日本語における言語変化について常に関心を有し、それを具体的な例として取りあげて説明できているかを採点時の観点とした。

(二) 日本語の「音」と「訓」について、知るところを述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

日本漢字における「音」と「訓」について、正しい知識を有して、分かりやすい述べかたで言語化できるかを採点時の観点とした。

《漢文学》

(一) 次の文（『世説新語』任誕篇）を読んで次の問いに答えよ。

問一 傍線部 A～C の読みを、送り仮名とともに記せ。

問二 傍線部①を、書き下し文にし、口語訳せよ。

【解答例（採点時の観点）】

問一 A：嘗て B：しむ C：やや

問二（書き下し）何ぞ一日も此の君無かるべけんや。

（訳）一日たりともこのお方（竹）無しにいられようか。

(二) 永明体について、代表的な文人の名を挙げて説明せよ。

【解答例（採点時の観点）】

中国古典詩史の知識を持っており、具体的な文人や作品が想起できるか、また、それについて具体的・論理的に文章化できているかを採点時の観点とした。

《比較文学》

(一) 日本文化に関する外国人の著述を選び、その比較文化的見解について述べなさい。

【解答例（採点時の観点）】

具体例に挙げて、海外から見た日本像を論理的に論じているかどうかを採点時の観点とした。

(二) 近現代の歴史小説を一つ取り上げ、キリシタン時代の日欧関係に関する描写を分析しなさい。

【解答例（採点時の観点）】

受験者の日本文化史と日本文学史の知識と回答の論理性を採点時の観点とした。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを基準として、総合的な視点により判断しております。